

経過概要

第 78 回全国労働委員会連絡協議会総会は、令和 5 年 11 月 9 日（木）から 10 日（金）にかけて、東京大学安田講堂大講堂において、中労委及び都道府県労委の公労使各側委員、事務局長のほか、各事務局職員を含め、約 490 名の参加者により開催されました。

9 日には、岩村正彦全国労働委員会連絡協議会会長（中労委会長）の開催挨拶の後、規約により岩村会長が議長となり、宮崎政久厚生労働副大臣の御挨拶をいただきました。その後、副議長の指名が行われ、公益委員の副議長に鹿野菜穂子委員（中労委）・石井浩委員（中労委）が、労働者委員の副議長に窪田清委員（山梨）・佐伯昭子委員（大阪）が、使用者委員の副議長に脇田亮委員（徳島）・田端一雄委員（沖縄）が、それぞれ指名されました。

続いて、鹿土眞由美運営委員長（中労委・公）から前回総会以降の運営委員会の審議経過、労働委員会在り方・ビジョン検討小委員会最終報告についての説明が行われ、運営委員長報告が了承されました。また、奈尾基弘全国労働委員会連絡協議会事務局長（中労委事務局）から、労働委員会の活動状況についての報告が行われました。

続いて、岩村会長から令和 8 年 3 月 1 日に労働委員会制度創設 80 周年を迎えるに当たり、記念行事を行うことについて全労委運営委員会に一任していただきたい旨の提案があり、了承されました。

その後、議題審議に入り、第 1 議題として「個別あっせんにおける工夫・配慮、スキル向上の取組について」（九州ブロック公労使提案）の経験と見解の交流が行われました。

提案理由説明

新納 幸辰（鹿児島・公）

意見発表

赤坂 薫（秋 田・公）

中元 直樹（山 口・労）

山野 豊（奈 良・使）

10 日には、第 2 議題として「労働基準法と密接に関連すると思われる調整事件の取扱いについて」（中部ブロック公労使提案）の経験と見解の交流が行われました。

提案理由説明

橋爪健一郎（富 山・公）

意見発表

金子 肇（長 野・公）

佐竹 一則（宮 城・労）

阿野 徹生（山 口・使）

その後、「フリーランスに対する法政策：労働法・独禁法・フリーランス法と労働委員会」と題して、荒木尚志氏（前中央労働委員会会長代理）による講演が行われました。

午後からは、第 3 議題として「労働組合法第 18 条に基づく労働協約の地域的拡張適用について」（中労委提案）の経験と見解の交流が行われました。

提案理由説明

小西 康之（中労委・公）

意見発表

佐脇 敦子（愛 知・公）

桑原 忠志（福 岡・労）

石川 純彦（東 京・使）

議題審議終了後、次期運営委員の指名が行われ、岩村会長の閉会挨拶をもって総会は終了しました。

総会終了後、第1回運営委員会が開催され、運営委員長に鹿土眞由美委員（中労委・公）が、副運営委員長に近本佐知子委員（山口・公）がそれぞれ選出された後、令和6年の総会に関する事項等について、協議が行われました。



全国労働委員会連絡協議会 岩村会長による挨拶



宮崎厚生労働副大臣による御挨拶



鹿土運営委員長による運営委員長報告



荒木尚志氏による講演



総会の様子（第1議題による交流）